

日建連におけるBIMの取組み

2021.12.10

一般社団法人 日本建設業連合会
建築生産委員会 BIM部会

主な活動内容と部会との関連性

年度		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5) -
KeyDate		施工BIMのインパクト(11) ITセミナー(02)	施工BIMのインパクト(11) ITセミナー(02)	BIM部会発足(04) 施工BIMのインパクト(11) 施工BIMのスタイル2020(03) BIMセミナー(06)	施工BIMのインパクト BIMセミナー 事例集2022発行	施工BIMのインパクト BIMセミナー+事例発表会
解説①	BIMのロードマップ(設計・施工部門)			検討・作成	公開	課題解決に向けた活動
解説②	設計施工一貫(パターン④)のワークフロー検討			(案)公開 検討・作成	公開	検証
日建連の 主な活動	EIR/BEP			ひな形検討	公開	検証
	BIMのワークフロー(BIMモデル承認)		中間報告書	手法の検討・課題点抽出	中間報告書	最終報告書 検証
	工事現場でBIMモデルを活用する場面の整理		手法の検討・課題点抽出	小冊子公開		検証
	仮設ライブラリ標準化	移動式クレーン(属性標準化・ライブラリの公開)		報告書・ライブラリ公開	その他、仮設系ライブラリ(属性標準化)	
解説③	教育・啓蒙	セミナー開催(日建連BIMセミナー・施工BIMのインパクト) リーフレット・報告書の公開				
周知	・『施工BIMのスタイル』シリーズの編集・発行 ・会員企業のBIM実態調査	『施工BIMのスタイル2020』編集		BIM実態調査 分析	速報値公開 『スタイル事例集2022』の編集	『施工BIMのスタイル事例集2022』発行

部会2：BIMモデルの形状と属性情報の標準化

部会1：建築BIM環境整備部会

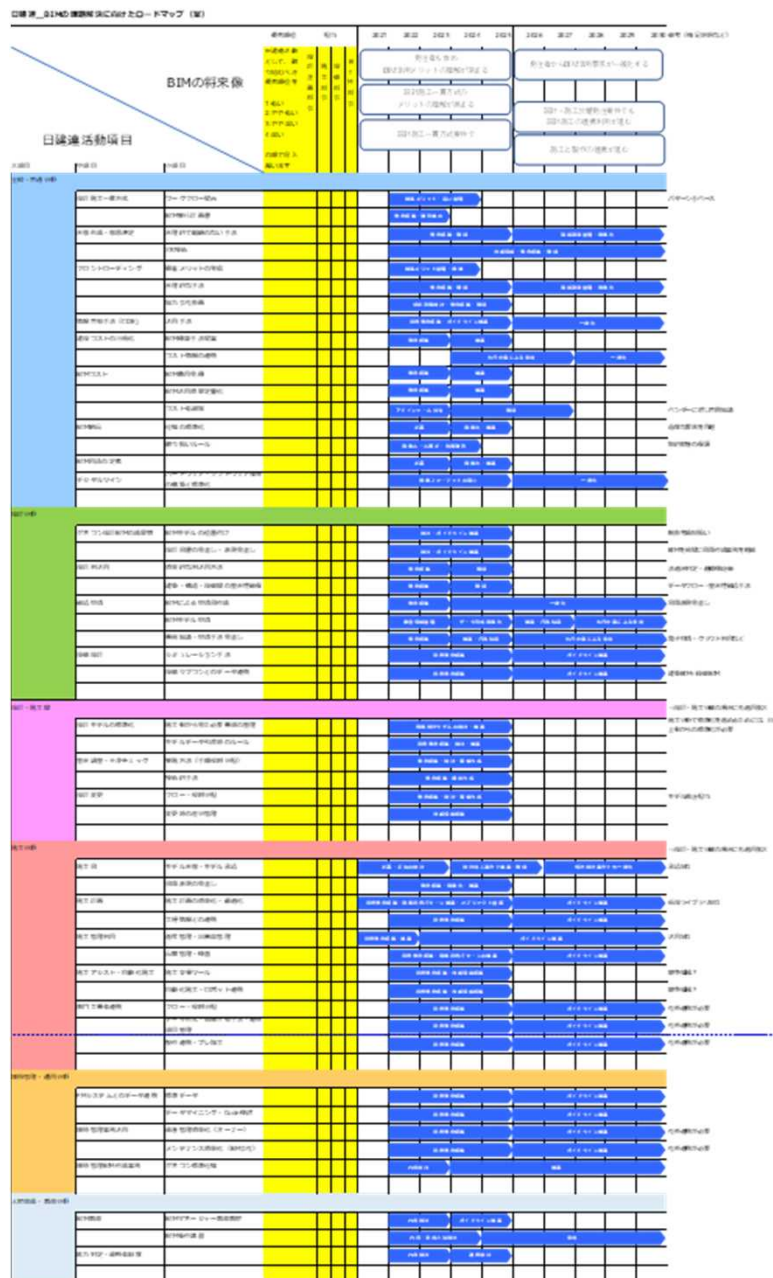
部会5：BIMの情報共有基盤の整備

BLCJとの連携により
標準化をすすめた

ガイドライン
と連携

連携方法は
今後検討

解説① | BIMのロードマップ



掲載する項目（検討中）：

- ・ BIMが一般化するために解決すべき項目を掲載
- ・ 優先度・重要度が高い項目の解決に向けた活動をする指針

BIMの将来像をあらためて定義：

例えば、

- ・ 2022年度－2025年度
 - ▷ 設計と施工においてデータの連携が進む（設計施工一貫発注）
- ・ 2026年度－2030年度
 - ▷ 発注者側でBIMを活用することが浸透（データの連携が一般化）
 - ▷ 施工と製作においてデータの連携が進む

対象分野：建築生産プロセスを包含

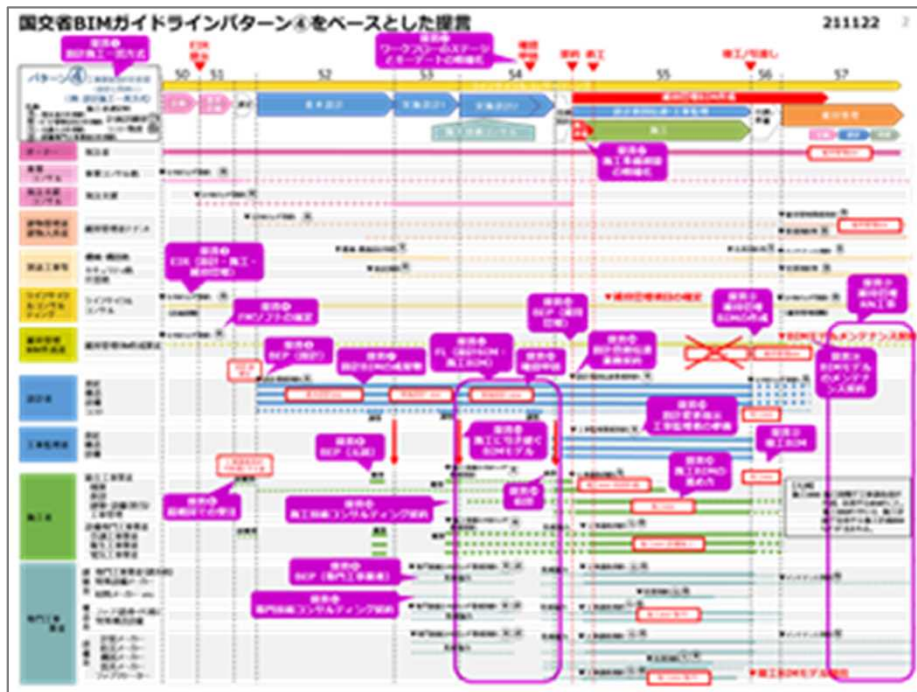
▷ 将来像を実現するための活動項目を整理

- ・ 全般・共通項目 | 設計分野 | 設計⇒施工への情報伝達 |
- 施工分野 | 維持管理分野

公開（予定）：

- ・ 日建連BIMセミナーにて公開（2022年6月頃）

解説② | 設計施工一貫発注のBIMの在り方



設計施工一貫発注のワークフロー（検討中）：

- ・ワークフロー④をベースとする

着眼点・留意点を示す（日建連版ワークフロー）

- ・『ガイドライン（第2版）』との整合性+補足説明

例えば、

- ▷ BEPのひな形（設計施工一貫）
- ▷ 施工に引き継ぐデータの在り方
- ▷ 施工技術コンサルティング契約の在り方
- ▷ フロントローディングのワークフロー（『手引き2019』）
- ▷ 施工BIMのワークフローを反映（『スタイル2020』）
- ▷ など

公開（予定）：

- ・（案）として公開（2022年3月）
- ・日建連BIMセミナーにて公開（2022年6月頃）

解説③ | 啓発・教育の活動

日建連BIMセミナー

開催日 : 2021年6月30日 (水)

開催方式：WEB開催（当日配信のみ）

参加者 : 493名

- ・『スタイル2020』を詳細に解説した
- ・参加者の評価：参考になった（9割の参加者）



● 2021年度日建連BIMセミナー NEW

2021年度は、『施工BIMのスタイル 施工段階におけるBIMのワークフローに関する手引き 2020』解説セミナーと題して2021年6月30日（水）にオンラインセミナー形式で開催し、493名に参加いただきました。

時間	内容	講師名	資料DL	備考
13:00 ～13:05	はじめに	BIM学会会長 高橋 邦光 (前田建設工業)		
13:05 ～13:10	開催趣意	BIM情報専門学会主席 三輪 昌也 (竹中工務店)		
13:10 ～13:25	解説 (1) はじめに 「勘務・使い方・ロードマップ」	高橋 邦光 (前田建設工業)		
13:25 ～13:40	解説 (1) はじめに 「施工BIMの動向」	糸田 紀博 (鹿島建設)		
13:40 ～14:00	解説 (2) 施工BIMの基本的な考え方① 「心構え・実務体感」	堀川 友成 (清水建設)		
14:00 ～14:20	解説 (2) 施工BIMの基本的な考え方① 「モデル・ツール・活用事例」	石塚 直樹 (フジシ)		
14:20 ～14:45	解説 (3) 施工BIMの基本的な考え方② 「作業工程・データ連携」	田中 元明 (大塚組)		
14:45 ～15:00	解説 (3) 施工BIMの基本的な考え方② 「専門工事会社の施工BIM」	車志 紀夫 (東芝エレクトロニクス)		
15:00 ～15:15	解説 (4) 施工BIMのワークフロー① 「全体・事前準備」	田中 元明 (大塚組)		
15:15 ～15:40	解説 (4) 施工BIMのワークフロー① 「施工計画BIM」	安谷 伸介 (竹中工務店)		
15:40 ～16:10	解説 (5) 施工BIMのワークフロー② 「施工図・製作図・総合図BIM」	堀川 友成 (清水建設)		
16:10 ～16:25	解説 (5) 施工BIMのワークフロー② 「図面活用連携」	高橋 啓一 (大成建設)		
		川 順司 (戸田建設)		
		BIM情報専門学会主席 三輪 昌也 (竹中工務店)		資料無し
	開催総括語			2021/8/25(28日)
	アンケート結果			2021/8/25(28日)
				2021/8/25(28日)

◎当日の説明資料：
・BIM部会HPからDLできます

施工BIMのインパクト2021

開催日 : 2021年11月25日 (木)

開催方式：WEB開催（オンデマンド配信あり）

参加者 : 集計中



**実際の工事現場でBIMをどのように活用しているのか、の視点から解説した
今回で7年継続しているイベント**

【主題】

- ・ 国交省のモデル事業他 : 3題
- ・ 専門工事会社連携の事例 : 1題
- ・ 社内展開・推進の事例 : 3題
- ・ 日建連からの報告 : 1題

◎オンデマンド配信：
・2021年12月28日（火）まで

◎当日の説明資料：
・BIM部会HPからDLできます

周知 | 施工BIMの教科書（手引き）

施工BIMのスタイル

施工段階におけるBIMのワークフローに関する手引き2020



編者：(一社)日本建設業連合会
建築生産委員会 IT推進部会
BIM専門部会※
発行：(一社)日本建設業連合会
仕様：A4判 / 256ページ
価格：1,000円(日建連会員企業)
3,000円(日建連会員企業以外)
※いずれも税込、送料別

購入方法：下記ウェブサイト参照



<https://www.nikkenren.com/publication/detail.html?ci=344>

本書は、総合建設会社でBIMの業務に従事している技術者が執筆を担当した、多角的な施工BIMに関する解説書である。

日建連は、2010年に建築生産委員会IT推進部会の傘下にBIM専門部会※を設置し、施工BIMに関する活動の成果を積極的に公開してきた。2014年には、『施工BIMのスタイル 施工段階における元請と専門工事会社の連携手引き2014』（以下、『スタイル2014』）を発行し、施工段階のBIMを「施工BIM」と日本で初めて定義するとともに、施工者自身がBIMモデルを作成・活用することを提唱した。更に、2016年と2018年に事例集も発行した。一方、『スタイル2014』は施工BIMの取組みが始まった時期の発行であったため、現在見られるような多角化した取組みには触れられておらず、その続編となる本書の発行が待たれていた。

本書は、『スタイル2014』の発行以降、総合建設会社や専門工事会社で多角的に始まった施工BIMの活用目的を「事前準備」「施工計画BIM」「施工図BIM」

「製作図BIM」「総合図BIM」「ICT建築土工」「周辺技術との連携」の7種類に分類し、それぞれのワークフローを15パターンとして提示、作業ポイントとともに解説している。加えて17事例の活用目的別モデルケースも掲載されており、工事工程とBIM実施工程の関係性が具体的に示され、活用する目的を早期に定めることでBIMモデルの作成時期や関係者を巻き込む時期を綿密に計画していく必要性などがより分かりやすくなっている。

施工BIMの基本的な知識や業界動向、参画する立場によって変わる役割、役割ごとに必要となるスキルについても解説されており、BIMの人材育成を目的とした各種研修会でもテキストとして使用できる。これから施工BIMに参画する技術者や多角的な取組みを始める技術者にぜひ読んで欲しい内容だ。実務に直結できる内容になっている本書は、現在、そして今後の施工BIMを知るうえで重要な1冊である。

※ BIM専門部会は、2021年4月から建築生産委員会直下の「BIM部会」となりました。

参考 | 設計と施工で連携する体制の強化

建築BIM合同会議を設置

施工BIMの推進から建築BIM（日建連版）の推進へ

【背景】

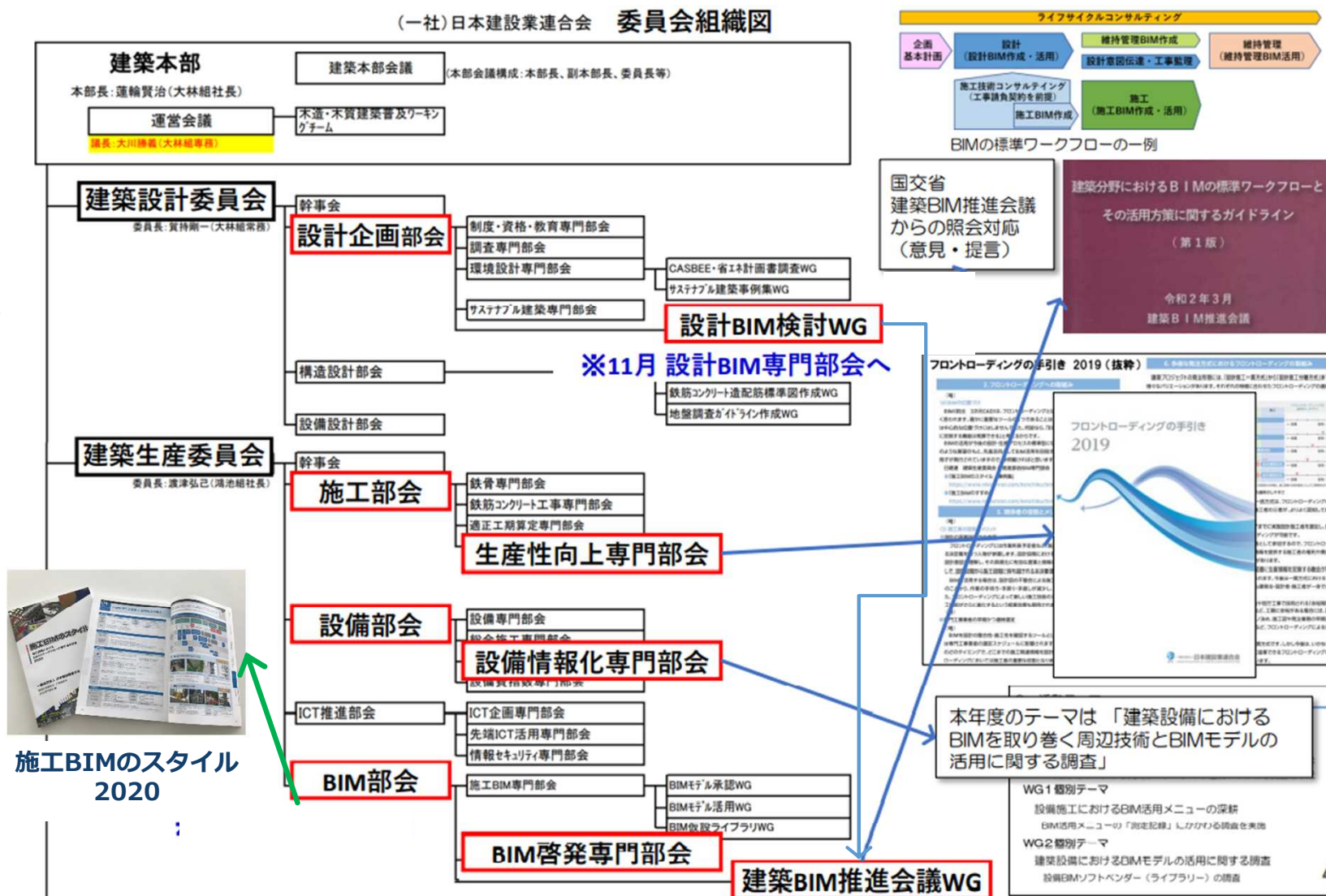
建築BIMの推進を加速するには、施工BIMを検討するだけでなく、設計BIMとの連携や設計から施工への情報伝達、フロントローディング、設備分野のBIMなどの課題を共有し、解決を図ることが大切になると考えています。

【体制】

建築本部内の委員会横断で検討・討議を加速します

【現在の活動内容】

ロードマップや設計施工一貫発注におけるBIMの在り方などの検討を開始しています



各種資料の入手先 | 日建連 - BIM部会HP



スタイル2020の入手

BIM部会

BIM部会

- ▶ 部会紹介
- ▶ セミナー
- ▶ 刊行物
- ▶ 報告書・その他資料
- ▶ 意見交換会議事録
- ▶ 設計/施工/設備/ICT/他



最新ニュース

- 2021.08.25 [2021年度日建連BIMセミナー 質疑応答・開催報告・アンケート結果](#) 【セミナー】
要を公開しました NEW
- 2021.07.06 [2021年度日建連BIMセミナー 講演資料を公開しました](#) 【セミナー】
- 2021.06.23 「BIM部会ウェブサイト」としてリニューアルしました
- 2021.06.01 「BIMモデル承認」に関する資料を掲載しました 【報告書・その他資料】



BIM部会



部会紹介

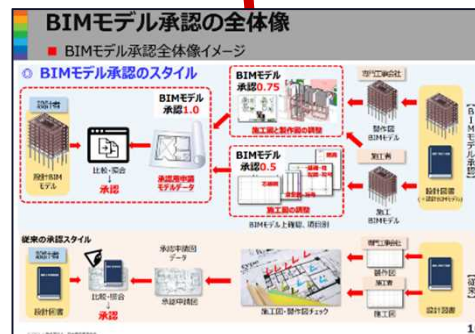
セミナー

刊行物

報告書・その他資料

意見交換会議事録

設計/施工/設備/ICT/他



施工BIMのインパクト2021

2021年11月25日（木）にWEB開催された本セミナーにおいて、日建連BIM部会 常務部会長が基調報告しました。

NO.	資料名	会社名	登壇者	DL	備考
001	基調報告『施工BIMの現状2021』	日本建設業連合会 (前日建連工業株式会社)	岡根 巨晃		-
002	非営利BIM推進会の検討内容と今後について	国土交通省	鈴 豊樹	-	非公開
003	都市型住宅の建築における構造・外装の品質確保と生産性向上	株式会社竹中工務店 株式会社竹中工務店 三協立山株式会社	安藤 寿孝 林 昭樹 安藤 佑 藤田 彰徳		-
004	地方型住宅型FULL-BIMプラットフォーム構築への挑戦 ～令和3年度 BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業経緯報告～	美保テクノス株式会社 ダイキン工業株式会社	新田 博史 國澤 史彦		-
005	BIMを活用した施工方法	株式会社伊藤工業	新井 壮紀		-
006	気づきのBIM、防ぎのBIM	松井建設株式会社	多田 章弘		-
007	2021ファーストモデルの展開	東急建設株式会社	吉村 知郎		-
008	ファリッド総合モデルとCLT連携の実践	人成建設株式会社	下田 恭平		-
009	質疑応答	-	-	-	後日公開
-	講演内容が掲載された新聞記事	日刊建設通信新聞社	-	-	後日公開

施工BIMのインパクトや日建連BIMセミナーの講演資料・質疑応答、など

◎ HPは2021年6月にリニューアルしました

